

■米国：ハワイ州、デマンドレスポンスに対する報酬プログラムを承認

2018年2月7日付ハワイ電力のプレスリリースによると、ハワイ州の公益事業委員会（HPUC）はハワイ電力傘下の電気事業者3社に対し、需要家側設備のコントロールによりデマンドレスポンス（以下DR）を提供し、電力系統の安定化へ寄与した需要家に対して、報酬を与えるプログラムを承認した。承認には技術的なものや、金融面での各分析等の幅広い意見を取り入れ、2年間以上が掛かったとされる。同社DR部・部長のリチャード・バロン氏は「私たちはHPUCがプログラムを承認したことと、我々の再エネ導入目標の達成のためのコスト効率的な解決策となりうるDRに対して、支持して頂いたことに感謝している。本プログラムによって、より多くの調整力を生み出すことで、より信頼できる電力系統を形成することができ、同時に需要家に対してはエネルギーの選択肢と経済的機会を広げることができる」としている。DRプログラムは初めにオアフ島とマウイ島で開始され、その他の地域も順次実施されていく予定である。現在同社は報酬の算定方法といった制度設計を行っている途中であり、2018年の下期にはプログラムが開始されるとしている。